Mémoires 2018

フェブラリーステークス

第35回フェブラリーステークス（GⅠ）優勝馬 ノンコノユメ

ついに夢叶う、復活のGI勝利

出走16頭すべてが重賞ウイナー、9頭がGI/JpnI勝ち馬。前年の覇者で、秋にはチャンピオンズカップも制して2017年度のJRA賞最優秀ダートホースに輝いたゴールドドリームを中心に、砂の頂上決戦にふさわしい豪華メンバーが揃った一戦。そのゴールドドリームを下して優勝したのは、爆発的な末脚を持ちながら、3歳夏のジャパンダートダービー以降、長くビッグタイトルから遠ざかっていた6歳馬ノンコノユメだった。

レースはJBCスプリントの勝ち馬ニシケンモノノフ、川崎記念を逃げ切ってきたケイティブレイブ、東海ステークスをやはり逃げ切り勝ちのテイエムジンソクらが先行し、厳しい流れに。直線、それら先行勢が力尽きると、中団からゴールドドリームが力強く伸びて先頭に立った。

ノンコノユメは、4コーナーを回ったときにはまだ最後方にいた。しかしそこから長い直線を猛然と追い上げ始める。前走の根岸ステークスでも、初コンビを組んだ内田博幸騎手の手綱に応え、後方一気の豪快な差し切りでレコード勝ち。自身にとって約2年ぶりの勝ち星をあげていた。

残り100㍍でゴールドドリームに追いついたノンコノユメが、馬体を併せる。手に汗握る競り合いは、最後にねじ伏せるようにノンコノユメがぐいっと前に出て決着した。

レース後、加藤征弘調教師は、6歳にして久々のビッグレース制覇を成し遂げるまでのノンコノユメの道のりについて語った。スタッフが危険を感じるほど激しい気性で、4歳夏に思い切って去勢して騸馬にしたが、そのことでは批判もあった。しかし気性面は改善され、5歳の夏に長く休ませたことで、以前から悩まされていた股関節の痛みもなくなり、馬体も昔の良い頃に戻ってきた。復活劇の陰には、そうした努力の数々があったのだ。

加藤調教師は大井やシンガポールでのGI/JpnI勝ちはあるが、JRAのGI勝利は開業17年目で初めてだった。また内田騎手はヴィルシーナのヴィクトリアマイル以来、これが約4年ぶりのGI制覇。この勝利はノンコノユメ自身だけでなく、関わった人々にとっても、文字通り待ち望んでいたものだった。

▶関東馬の優勝はグルメフロンティア以来20年ぶりとなった。

▲4コーナー、ノンコノユメ（帽色・緑・左）は、最後方から追撃を開始。

第35回フェブラリーステークス（GⅠ）

2/18　東京競馬場　1600㍍（ダート・左）　晴・良　16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム／着差	人気	通過順位
1	ノンコノユメ	騸6	57	内田　博幸	加藤　征弘	1:36.0	④	14 13
2	ゴールドドリーム	牡5	57	R. ムーア	平田　修	クビ	①	10 8
3	インカンテーション	牡8	57	三浦　皇成	羽月　友彦	クビ	⑥	7 6
4	サンライズノヴァ	牡4	57	戸崎　圭太	音無　秀孝	3	③	9 8
5	レッツゴードンキ	牝6	55	幸　英明	梅田　智之	1/2	⑩	10 11
6	キングズガード	牡7	57	藤岡　佑介	寺島　良	ハナ	⑫	15 13
7	メイショウスミトモ	牡7	57	田辺　裕信	南井　克巳	2 1/2	⑮	10 11
8	サウンドトゥルー	騸8	57	F. ミナリク	高木　登	2 1/2	⑪	15 13
9	アウォーディー	牡8	57	武　豊	松永　幹夫	クビ	⑦	10 13
10	ベストウォーリア	牡8	57	C. ルメール	石坂　正	クビ	⑧	6 6
11	ケイティブレイブ	牡5	57	福永　祐一	目野　哲也	1/2	⑤	2 2
12	テイエムジンソク	牡6	57	古川　吉洋	木原　一良	3/4	②	3 3
13	ノボバカラ	牡6	57	石橋　脩	天間　昭一	2 1/2	⑯	4 4
14	ロンドンタウン	牡5	57	岩田　康誠	牧田　和弥	1 1/2	⑨	7 8
15	ララベル	牝6	55	真島　大輔	荒山　勝徳	1 3/4	⑭	5 5
16	ニシケンモノノフ	牡7	57	横山　典弘	庄野　靖志	1 1/4	⑬	1 1

単勝⑫1,070円　複勝⑫280円 ⑭130円 ⑥350円　枠連(6-7)870円
馬連⑫-⑭1,140円　馬単⑫-⑭3,530円　ワイド⑫-⑭520円 ⑥-⑫2,620円 ⑥-⑭720円
3連複⑥-⑫-⑭6,540円　3連単⑫-⑭-⑥41,560円

ハロンタイム　12.2-10.7-11.2-11.7-12.5-12.6-12.3-12.8
通過タイム　600㍍34.1-800㍍45.8-1000㍍58.3-1200㍍1:10.9-1400㍍1:23.2

優勝馬 **ノンコノユメ**
2012.3.28生　父トワイニング　母ノンコ　母の父アグネスタキオン
千歳・社台ファーム生産　馬主：山田和正氏